

2021 年度後期授業アンケート集計結果（全体的特徴）

20220307 FD 委員長

【授業アンケート実施状況】

	2021 年度後期				2020 年度後期			
	教員数		講義数		教員数		講義数	
	対象	実施	対象	実施	対象	実施	対象	実施
専任	66	65	296	207	62	62	290	260
非常勤	53	48	91	74	68	64	112	106
総合計	119	113	387	281	130	126	402	366

【授業アンケートに答えた学生数（延べ回答者数）の内訳】

学部学科別人数			学年別人数・構成比		
学部	学科	人数	学年	人数	構成比
経済学部	経済学科	305 名	1 年次	790 名	57.4%
	公共政策学科	116 名	2 年次	408 名	29.6%
経営学部	スポーツ経営学科	307 名	3 年次	133 名	9.7%
	情報メディア学科	249 名	4 年次	46 名	3.3%
看護学部		400 名	5 年以上	0 名	0%
計		1,377 名	計	1,377 名	100.0%

【回答率（＝延べ回答者数／延べ受講者数）】

1,377／14,135＝9.7%（昨年度後期：30.0%）

○教員数でみた授業アンケート実施率（＝アンケート実施教員数／アンケート対象教員数）は 95.0%（＝113/119）であった。うち、専任教員は 98.5%（＝65/66）、非常勤教員は 90.6%（＝48/53）である。なお、昨年度実施率は 97.0%（＝126/130）であった。

○講義数でみた授業アンケート実施率（＝アンケート実施講義数／アンケート対象講義数）は 72.6%（＝281/387）であった。うち、専任教員の講義は 70.0%（＝207/296）、非常勤の講義は 81.3%（＝74/91）である。なお、昨年度実施率は 91.0%、一昨年度実施率は 96.7% であった。昨年度以降のアンケート実施はコロナ禍で全面遠隔授業となっていた時期であり、一昨年度との単純比較はできないが、昨年度と比較しても、大幅に授業アンケート実施率が低下したことは課題である。授業アンケートは学生ポータルで一斉に依頼されるが、その周知徹底の欠如やシステムの限界が見受けられる。

○同様のことは回答率（＝延べ回答者数／延べ受講者数）についても言える。すなわち、一昨年度は 50.0%、昨年度は 30.0%に低下したが、2021 年度後期は 9.7%と大幅に低下した。一昨年度以前の授業時間内に回答（マークシート）提出を行っていた頃に比べると回答率は低下しているし、前期に比べ後期は回答率が低下する傾向にあるが、それでも**全体の 1 割程度の回答率であることは、早急に対策を講じる必要がある。**

○学部学科別回答率は、看護学部が高く、経営学部スポーツ経営学科が低いこと、学年別回答率は 1 年次生が高いことは、例年通りである。

○上述のような課題があるとしても、アンケートのオンライン実施は継続する。ペーパーレス化、学生のデジタル化への対応や、匿名性を保持しつつ回答者を GPA や入学時入試種別と紐づけることで、「成績上位者は〇〇の点に不満を持っている」といった分析などが可能となる。本学での IR 活動の本格化が期待されるが、授業アンケート結果はそのローデータとしても意義がある。

授業アンケートの設問 1.～11.（「2021 後期設問」参照）の回答状況については「2021 後期全体集計表」を参照されたい。以下、一部に経年比較を示して補足するが、**肯定的評価割合が上昇し、逆に否定的評価割合が低下している。コロナ禍にあって先生方の教育に対するご尽力の成果がよく分かる。**

設問 4.【板書の書き方またはパワーポイント、講義資料は分かりやすい(読みやすい)か】

「とても分かりやすい」、「やや分かりやすい」と回答した割合の合計は 73.8%（昨年度 72.7%、一昨年度 60.7%）と上昇した。逆に「とても分かりにくい」「やや分かりにくい」と回答した割合の合計は 7.9%（昨年度 7.9%、一昨年度 14.9%）に留まる。

設問 5.【教員の話し方・説明は分かりやすいか】

「とても分かりやすい」、「やや分かりやすい」と回答した割合の合計は 78.0%（昨年度 72.7%、一昨年度 62.4%）と上昇した。逆に「とても分かりにくい」「やや分かりにくい」と回答した割合の合計は 7.7%（昨年度 7.7%、一昨年度 15.1%）に留まる。

設問 6.【授業はどの程度理解できるか】

「とても良く理解できる」「ある程度理解できる」と回答した割合の合計は 79.9%（昨年度 75.3%、一昨年度 67.0%）と上昇した。逆に「全く理解できない」「あまり理解できない」と回答した割合の合計は 5.1%（昨年度 6.1%、一昨年度 9.5%）と低下した。

設問 7.【授業に集中するための環境は保たれているか】

「とてもよく保たれている」「ある程度保たれている」と回答した割合の合計は 87.9%（昨年度 81.6%、一昨年度 71.9%）と上昇した。逆に「全く保たれていない」「あまり保たれていない」と回答した割合の合計は 2.5%（昨年度 4.4%、一昨年度 7.8%）と低下した。

設問 8.【授業に意欲的に参加したか】

「とても意欲的である」「ある程度意欲的である」と回答した割合の合計は 88.9%（昨年度

83.4%、一昨年度 74.2%) と上昇した。逆に「全く意欲的でない」「あまり意欲的でない」と回答した割合の合計は 2.0% (昨年度 2.8%、一昨年度 5.2%) と低下した。

設問 9. 【授業に出席して、どのように感じているか】

「とても満足」「やや満足」と回答した割合の合計は 81.0% (昨年度 74.3%、一昨年度 64.9%) と上昇した。逆に「とても不満」「やや不満」と回答した割合の合計は 3.9% (昨年度 5.3%、一昨年度 7.5%) と低下した。

設問 10. 【予習・復習を毎回平均してどの程度行っているか】

「1 時間以上」「30 分～1 時間程度」「30 分未満」と回答した割合の合計、すなわち予習・復習を少しでも行っている割合は 72.2% (昨年度 69.5%、一昨年度 42.9%) と上昇した。逆に「ほとんどしない」と回答した割合は 27.8% (昨年度 30.5%、一昨年度 57.1%) と低下した。改善傾向にあるものの、大学設置基準 21 条に定められた授業時間外の学修時間およびシラバス記載「時間外での学修」に到底及ばないことは、大学全体の問題として共有したい。

設問 11. 【学生の理解を確認しながら授業が進められているか】

学生の理解が「確認されていない」と回答した割合は 8.6% (昨年度 11.6%、一昨年度 13.3%) と低下した。

「2021 年度後期教育自己評価」を作成していただく際に、学部学科別の集計結果をお知りになりたい場合は、教務課までご連絡ください。

以上